

告示	番号	34	免疫疾患
	疾病名	CD8 欠損症	

CD8 欠損症

しーでいーえいとけっそんしょう

概念・定義

原発性免疫不全症の一疾患であり、CD8の欠失により細胞障害性T細胞の活性化障害をきたす。2001年にスペインから最初に報告され、CD8A遺伝子の変異が同定された。

症状

乳児期・小児期から上気道感染、下気道感染、中耳炎を反復する。成長障害も呈する事が多い。

合併症

呼吸器感染の反復による気管支拡張症や呼吸障害
感染症の反復や呼吸障害に伴う栄養障害・成長障害

治療

細菌感染症に対する抗生剤治療や予防的抗生剤治療が推奨されている。造血幹細胞移植が根治治療として考えられるが、これまでは施行されていない。遺伝子治療も理論的には有効と考えられる。

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/10_1_6.html